鹿海町・楠部町

本地区は、五十鈴川沿いに位置し、伊勢二見鳥羽ラインが横断しています。その他の主な道路としては、国道23号や主要地方道の伊勢磯部線があります。

山には三重県により土砂災害（特別）警戒区域が多数指定されており、広範囲な被害が想定されている箇所もあるため、早めの避難が必要です。

そのため、避難先が遠い場合や、避難経路上に危険な箇所がある場合には、早めの避難を心がけるなど、日頃から土砂災害に対する備えを家族や近隣の方と検討しておくことが重要です。

災害発生の可能性が高まった時 どのタイミングで だれと どのように どこへ 避難するのか

●次の各ステップに従って、必要な情報をこのマップ（P. 5 ～P. 23）に実際に書き込んで、あなたの家族だけの防災マップを完成させてください。

●マップに赤いペンなどで避難経路、危険な箇所を直接追記してください。

第1段階

このマップからあなたの家をみつけ、周辺の危険箇所などの状況を確認しましょう。

- □ あなたの家は?
- □ あなたの家の周辺には、危険な箇所がありますか?

第2段階

あなたの避難所と避難経路を確認しましょう。

- □ あなたの家から避難所までの所要時間はどれくらいですか?
- □ 避難所までの間にある土砂災害危険箇所を確認しましょう。
- □ 指定避難所以外の避難場所、避難経路の候補はありますか？

第3段階

あなたが地図上で選択した避難経路を安全に避難できるか確認しましょう。

- □ 避難経路に沿って、災害の起きそうながけはありますか?
- □ 避難経路上で浸水するような場所はありますか?
- □ 避難経路の近くにマンホール、道路の側溝、深く窪んだ場所などがありますか?
- □ 避難経路に沿って、夜間でも避難できるような街灯などはありますか?
- □ 避難経路沿いで避難の呼びかけなどをしていく住宅等はありませんか?

今後もより現状に合ったマップとするためにP5～P23のマップを自分で更新しましょう。

避難カード

29・30ページを参考にして、下の「わたしの行動メモ」に土砂災害への対応を記入し、それぞれの状況でどういう行動をするか、事前に確認しておきましょう。

わたしの行動メモ

●「避難準備・高齢者等避難開始」が発令されたら?	●今後大雨が降り続きそうなとき（※台風や集中豪雨）
例）足の悪いおじいちゃんは避難をはじめる。	例）大雨になる前に避難所に避難をしはじめる。
●「避難勧告」が発令されたら?	●土砂災害の前兆現象を発見したら?（※28ページ）
例）家族で考えた高台など安全な場所へ避難する。	例）伊勢市に連絡し、危険を感じたら避難をはじめる。
●「避難指示（緊急）」が発令されたら?	●逃げ遅れたときは?
例）すぐに土砂災害の危険性が少ない高台などへ避難する。	例）自宅二階の裏山から離れた場所に避難する。

MEMO

避難の時期を逃した場合は、斜面からなるべく離れた部屋や二階に避難する等の対応をしましょう。

このほかにも、テレビやラジオなどで気象情報も確認しましょう。（※詳しくは 29 ページを参照）
様々な情報を収集し、早めの避難を心がけましょう。

避難所

伊勢市では、統一的な基準を設定し、災害時の避難所を指定しています。
避難所（自主避難所含む）を伊勢市防災マップで確認しておきましょう。

◆避難所の安全度のランクと避難先のイメージ　※伊勢市　避難所指定基準（平成27年度）より

指定避難所〈しごうこども園、四郷小学校 校舎、伊勢市生涯学習センター、宇治山田商業高等学校 校舎・体育館、修道小学校 校舎・屋内運動場〉

職員を派遣し、市が開設する避難所。原則として学校・体育館等の大規模人員を収容できる施設。

自主避難所〈しごうこども園、伊勢市生涯学習センター〉

台風接近時など、避難勧告等を発令する前に自主避難できるよう開設する避難所です。